



伊藤 亜紗 (いとう あさ)

「もし目の見えない人が社会を作ったら」

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授、同環境・社会理工学院准教授(兼任)。美学者。現代アートおよび身体について研究するかたわら、雑誌の編集や小説の執筆にもたずさわる。近年は小林耕平の作品に参加。最新作は『ゾ・ン・ピ・タ・ウ・ン』(2013)。著書に『ヴァレリーの芸術哲学、あるいは身体の解剖』(水声社)。『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書)が話題になる。



栗田 季佳 (くりた とみか)

三重大学教育学部特別支援教育講座所属。専門は障害者に対する態度研究を中心に、平等の社会的意義、価値観の形成と変容、共生教育など。主要著作・論文に『見えない偏見の科学——心に潜む障害者への偏見を可視化する』(京都大学出版会、2015年)、『対立を乗り越える心と実践』(大学出版部協会、近刊)、『障がい者』表記が身体障害者に対する態度に及ぼす効果——接触経験との関連から』(『教育心理学研究』58(2)、129-139、2010年、共著)



村林 真哉 (むらばやし しんや)

1962年三重県多気町生まれ、大阪芸術大学卒、ドイツ留学、アーティスト活動を経て、NPO法人を設立。障がいのある人たちなど、マイノリティアーティストの美術、音楽、文化活動、国際交流、社会活動等の支援を行っている。特定非営利活動法人希望の園 理事。まつさかチャレンジドブレイス希望の園 園長。アトリエ HUMAN・ELEMENT 主宰。

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会講演会

トークテーマ

# 「違いから生まれる発見」

差別や偏見は

どうして作られるのだろうか？

アートや音楽が持つ関わりを通して、その発生の違いを読み解くトーク。

「そう深くは気にしない人たちの

エンターテイメント」

2016.12.11日

午前10時～午後1時頃まで  
ゲストのトーク・演奏 (30分前開場)

会場 / 愛知芸術文化センター  
12階アートスペースA (定員120名)

- 10:00 司会/鈴木敏春(美術批評)ゲストの紹介
- 10:05~11:05 基調講演/伊藤亜紗さん  
「もし目の見えない人が社会を作ったら」
- 11:05~12:20 村林真哉さん、栗田季佳さんの順で問題提起。  
以後、伊藤亜紗さんにも加わってトーク。会場からの自由討議。
- 12:30~13:00 希望の園  
「そう深くは気にしない人たちのエンターテイメント」ショー

入場無料

定員120名



- アクセス ●地下鉄…東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分  
●名鉄…瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩2分  
●自動車…名古屋高速東新町出口から3分



お問い合わせ

第16回障害者芸術・文化祭実行委員会事務局(愛知県健康福祉部障害福祉課内)  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 TEL. 052-954-6697 FAX. 052-954-6920 Email: powerofart@pref.aichi.lg.jp

□主催/第16回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 □後援/NPO愛知アート・コレクティブ